



医療イノベーション5か年戦略の着実な推進

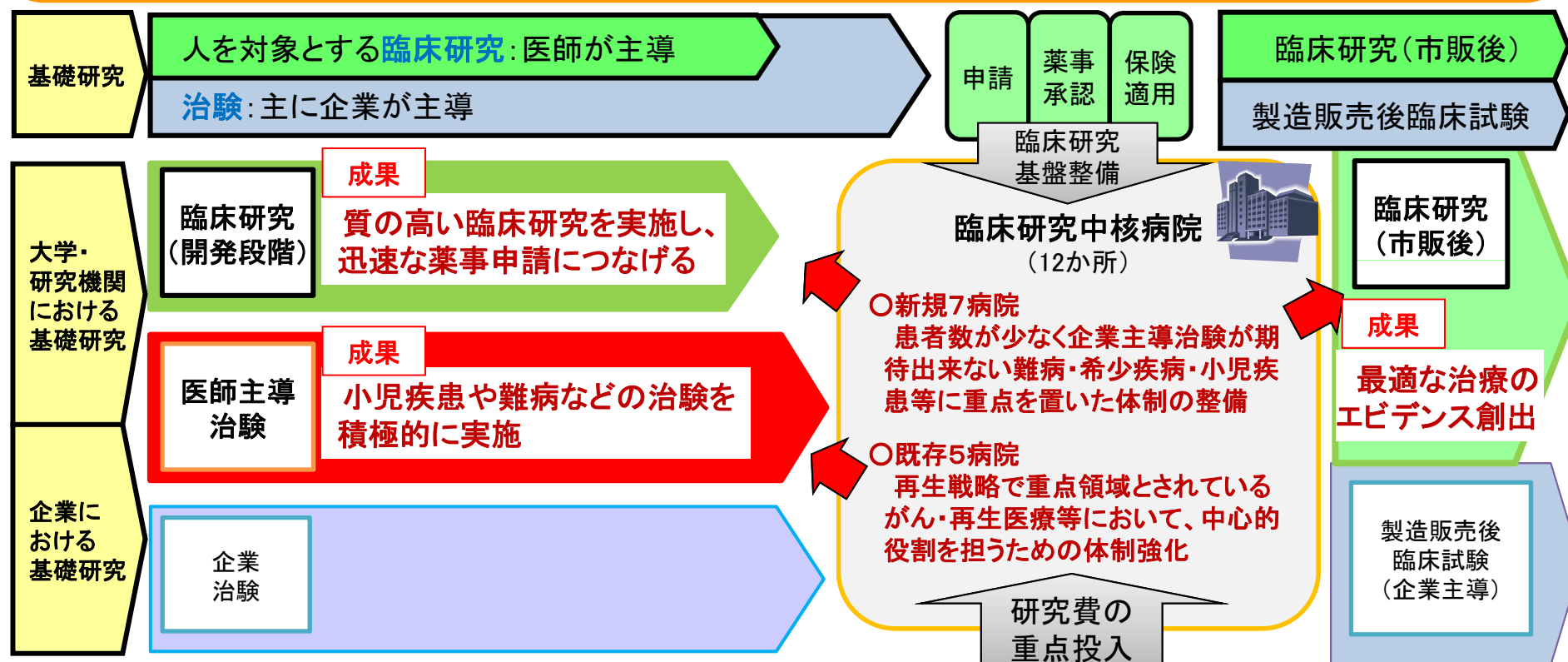
3. 臨床研究・治験環境の整備

104億円

1) 臨床研究中核病院の整備

61億円

- 臨床研究の質を向上させるため、国際水準（ICH-GCP準拠）の臨床研究や医師主導治験の中心的役割を担う臨床研究中核病院を平成24年度から5か所、平成25年度からは更に7か所整備するとともに、国際水準の臨床研究や医師主導治験等の実施を支援。
※ 日本再生戦略において、臨床研究中核病院を平成23年度から3年間で15か所程度創設することを明記。
- 平成25年度から新たに7病院を選定し、患者数が少なく企業主導治験が期待出来ない【難病・希少疾病・小児疾患等】の医師主導治験の実施とネットワーク構築に重点を置いた体制を整備。また、平成24年度より臨床研究全般の体制整備を開始した既存5病院について、平成25年度は、日本再生戦略で重点領域とされる【がん】【再生医療】などに係る体制を強化。



整備費: 54億円(既存強化: 18億円 新規整備: 36億円) / 研究費: 7億円



医療イノベーション5か年戦略の着実な推進

3. 臨床研究・治験環境の整備

104億円

2) 橋渡し研究等の推進

43億円

<国立高度専門医療研究センターにおける橋渡し研究等推進事業>

国立高度専門医療研究センター（NC）の機能を活用し、産官学が密接に連携できるよう、実験機器、専門性の高い人材等の整備・確保を行い、企業や海外の研究者の受け入れ等を行うことにより共同研究等を推進し、企業や大学等研究機関との連携を進める。併せて研究所と病院の連携による橋渡し研究を推進する。

<取組みの三本柱>

- ① 企業・大学等との連携
- ② 海外の研究者・研究機関等との連携
- ③ 研究所と病院の連携

<期待される成果>

- 企業・大学等と連携することにより、臨床と研究の橋渡しができる環境を活かして、より早い新薬、新医療機器、新医療技術の開発が可能となる。
- 東アジア等の研究者の受け入れや研修の実施や、共同臨床研究を支援し、東アジア等で多い疾患や共通する課題に海外機関等と連携して対応する。
- 研究所と病院の連携により、革新的な医薬品・医療機器の開発、最先端の治療法の実用化を推進する。

① 企業・大学等との連携

産官学の密接な連携のもと、外科系手術関連機器・手術手技の開発など新たな医療機器、医薬品、医療技術を開発し、患者に迅速に提供できるよう、企業や大学等研究機関との共同研究等を推進する。



② 海外の研究者・研究機関等との連携

東アジア等で多い疾患や共通する課題である急速な高齢社会に共同して対応していくため、東アジア等の研究者及び医療従事者に対する研修の実施や、共同臨床研究の支援等を推進する。



③ 研究所と病院の連携

研究所と病院の橋渡し研究を基盤として、治療が困難とされている疾患などへの革新的な医薬品・医療機器や先端の治療法の開発を推進する。

